

## 人事異動

### <新任>

特別研究員 前田 英雄  
(2月10日付)  
特別研究員 吉田 重彦  
(4月1日付)  
専任研究員 星野 愛花里  
(4月1日付)

### <昇進>

研究部次長 野津 裕  
(2月1日付、前特別研究員)

### <退職>

研究部次長 堀田 貢  
(1月31日付)  
専任研究員 経 亀 諭  
(2月9日付)  
特別研究員 三津橋 真一  
(3月31日付)

## 編集後記

◆今年の農作業も本格化してきましたが、生産者の方々は将来が見通せない中で営農を余儀なくされているのではないのでしょうか。

◆新自由主義的グローバリゼーションの過度の進展に起因すると思われる天候危機とコロナパンデミック、さらにはウクライナ

ナ侵攻により世界は分断と対立を深めています。一方で、気候変動対策への取り組み強化が世界の潮流となっています。

◆効率よりも安全保障が優先される機運の中で、我が国でも食料安全保障の確立に向け、食料・農業・農村基本法の改正に向けた見直しが進められています。みどりの食料システム戦

略で推進する有機農業との整合性がこれたものとなることを期待しています。生産の効率化と多面的機能の発揮の両立という、難題がつきつけられているのです。

◆この実現に向けて国は、スマート農業の進展など、生産側でのイノベーションに期待を寄せていますが、消費・販売・流通場面での意識改革なくして、その実現はできないのではないのでしょうか。それには今まで接点のなかった人、モノ、資金、情報の新たな結合が生み出すイノベーションが必要です。

◆人は三七兆個の細胞からなる臓器等の活動により生命を維持

しています。最近の研究では、臓器間の情報交換(クロストーク)の詳細も解明されています。まさに、地球に住む八〇億の人間が、地球という生命体を維持するため、個々の活動はもとより、新たな繋がりを持った活動が求められているのです。

(及川 敏之)

### 「地域と農業」第129号

発行：一般社団法人 北海道地域農業研究所  
〒060-0806  
札幌市北区北6条西1丁目4番地2  
ファーストプラザビル7階  
☎ 011 (757) 0022  
Fax 011 (757) 3111  
HP : <https://www.chiikinouken.or.jp>  
E-mail : [office47@chiikinouken.or.jp](mailto:office47@chiikinouken.or.jp)